

シルバー 松山

No.109 新年号

もくじ

P2 新春を迎えて

— 松山市長・理事長のあいさつ —

P3・P4

今年は卯年 年男・年女より新年の抱負をうかがいました

P5・P6・P7

特集 生涯現役時代

進む高齢者活用の現実と可能性

P8 理事会の動き／トピックス フライブルク市 副市長来訪

P9 女性会員の会だより

P10 お仕事拝見

P11 ぶらり松山散策

P12 お知らせ／編集後記



編集・発行

公益社団法人 松山市シルバー人材センター

所在地 松山市若草町8-3

TEL 089-933-7373

FAX 089-933-0131

<http://m-silver.sakura.ne.jp/>

e-mail : matuyamasc@sjc.ne.jp

※表紙写真／会員・舟川 鉄夫氏

新春を迎えて



松山市長

野志 克仁

明けましておめでとうございませす。

皆さまには、健やかに新春を迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日頃から高齢者の生きがいづくりなど、松山市政に格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

松山市シルバー人材センターでは、除草や剪定など、会員向けに就業機会を数多く提供するとともに、松山市と連携して常用雇用を希望される方の相談に対応するなど、幅広く事業を実施されており、深く敬意を表します。

さて、新型コロナウイルス感染症の長期化に加え、円安や物価の高騰など影響を受ける中、松山市では雇用を維持するため、キャリ

アコンサルタントなど、専門家の相談窓口を設けたり、離職者の正規雇用を支援したりし、さまざま

な対策を行ってまいりました。

人口減少が進み、今後の地域経済の回復と労働力不足に対応するには、働く意欲のある会員の皆さまの社会参加が重要と考えています。皆さまが長年培われてきた高い技術や知識、豊富な経験、人脈などを地域社会で存分にいかしていただけるようご期待申し上げます。

今後、さまざまな就業ニーズに因應するため、緊密に連携していきたいと考えていますので、一層のお力添えをお願いします。

結びに、松山市シルバー人材センターのますますの御発展と会員の皆さまのご健勝、ご活躍を心からお祈りし、新年のご挨拶とします。

新春を迎えて

松山市シルバー人材センター
理事長

大塚 岩男

あけましておめでとうございませす。

会員の皆さま方におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は発生以来3年を迎えました。県内では昨年7月以降新型コロナウイルス第7波に見舞われ、8月には新規陽性者数が最多を記録するなど、雇用をはじめ社会経済活動は大きな影響を受け、シルバー人材センター事業においても計画どおりには進みませんでした。

そのようななか、当センターは設立35周年を迎え、6月には3年ぶり多数の会員の皆さんが一堂に会して、35周年記念式典と定時総会を開催いたしました。また、事業計画の重点目標であります、

令和5年度を始期とする「第6次
中・長期計画」の策定にあたり、「第
6次中・長期計画策定検討委員会」

を設置し、今後のセンター事業のあるべき姿を改めて定めるため検討協議を行っております。その他、昨年度に引き続き、高齢者のデジタル・デイバイド解消に向けた事業を国から受託し、松山市と連携して取り組んでおります。

シルバー人材センターは、人生100年時代といわれるなかで、高齢者が就業を通して地域社会に貢献することにより居場所ができたり、生きがいを感じるための重要な役割を担っており、今後も地域の特色や実情を踏まえた取り組みを強化して参りたいと考えております。

結びになりますが、会員の皆さま方におかれましては、引き続き当センターへの一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が素晴らしい年になることを祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

84歳

今年卯年

年男・年女より

新年の抱負をうかがいました！



上本 宝

平成11年に60歳で社会参加・健康維持を目的にシルバーへ入会。主に独自事業部門で印刷の仕事をさせていただき、感謝しています。コロナ禍、ロシア侵攻など暗い世の中ですが、本年も我慢強く生きていきましょ



大原 和子

今年も子育て支援や保育所での仕事に加え、新型コロナで中断している高齢者施設での♪シニアのための童謡・愛唱歌・抒情歌等の歌とピアノ伴奏、うた遊び♪、のボランティアの再開を楽しみにしています。



白石 昭雄

除草作業を長年しています。が、「仕事はしてやるのではなくさせていただくもの」と、毎回作業が終わると依頼主の方に「お礼のハガキを出しています。これからも元気な限りこの仕事を続けたい」と思っており、今年も「シルバーさんに頼んで本当によかった」といわれる仕事をしたいと思っています。



太鼓 栄美子

「光陰矢の如し」。印刷夢工房で20年余り勤め、昨春退職しました。好きな事ができたことに感謝しています。これからは健康第一で趣味のダンスやカラオケ、旅行など楽しみながら、人との繋がりを大切に過ごしたいと思っています。



永木 良

今年の卯年で七度目を迎えました。65歳で定年退職後、数年してシルバー人材センターに入会。十年以上お寺の清掃やお子様の見守りなど、いろいろな仕事をさせてもらってとても楽しいです。清水町サロンの押し絵教室も楽しいです。これからも健康に留意して仕事を頑張りますので、よろしく願います。



樋口 重信

シルバーに入会して20年になりました。除草班で長く働いてきましたが、事故も無く、毎日楽しく幸福です。今年卯年ですが厄をのがれて頑張りたと思います。卯年で一句。「ロケツトで餅米送るか月うさぎ餅がつけたらまいてくれ」



細川 寅雄

仕事は辛いことも楽しかったこともありました。私は旅行が好きで、年に一回は行きよりました。ドライブもカラオケも好きです。今年仕事も引退をするつもりです。長いあいだお世話になりました。



百瀬 明

長年剪定の仕事をしていました。仕事も忙しいですが、趣味も忙しく、家庭菜園に加え、週に2〜3日は仲間とカラオケを楽しんでいます。ウサギのようにピョンピョンと軽やかに、健康第一で仕事と趣味を頑張ります！

72歳

今年は卯年

年男・年女より

新年の抱負をうかがいました!



赤松 邦恵

お蔭様で健やかに新年を迎えました。今年の目標は3日坊主の克服です。主人が十数年継続している「散歩」を私もめざします。ペースも体力も違うので私なりのコースとタイムを設定。有言実行!!年女の意地で頑張ります。



小松 孝三

昨年、仕事・スポーツ等でピョンピョンと走り回っていましたが、突然、癌を告知され足が止まってしまいました。今年、人参パワーで、2回目のお四国参りをして、気力・体力の向上を目指していきたいと思っています。



福島 壮一

入会して早いもので5年が経ちました。大病を患いましたが、今では日々動いているせいか、健康に過ごしています。今後、病氣、怪我をせず健康に過ごしたいと思っています。今年はいまだ初飛行していないドローンを使って、空撮に挑戦しようと思っています。



矢野 美恵子

去年、愛媛県の「愛顔の文化鑑賞券」に当選して、私はフランス映画にはまりました。話が分からないので3回も観に行つた映画もあります。意味のあるような無いような、こちらの想像力を刺激する映画を観たいです。



戒田 英生

ここ数年間を振り返ると、あれもこれもしなければいけないと思ひ、生き急いでいたのかなあ。これからは、どうにもならない事に振り回されず、物事に余りとらわれないよう泰然自若に暮らそう。



田中 伸子

今年、コロナ禍で休止していたウォーキングを再開しようと思ひています。歳は重ねても心身は健康でいることが大事です。規則正しい生活を中心に、これまでと変わらず動ける身体を維持していきたいです。



松林 千春

15年程前から友人に誘われて始めた山登り。今では大好きになつてお天気が良い日はわくわくします。今年山に20回登ろうと思ひています。可愛い山の花に癒されに。



山崎 晴郎

剪定班に所属し、本年で3年目を迎えます。辛抱強いだけが取り柄なので、まずは技術の向上を目指したい。特にマツはむずかしく、先輩方の指導を仰ぎながら取り組んでいます。マツの剪定で評判の良い場所には出向いて注意深く鑑賞したいと思います。

特集

生涯現役時代
進む高齢者活用の現実と可能性

年々高齢者の就労率が上昇し、今や労働力総人口の約13.4%を占め、65歳～69歳の高齢者の半数以上、70～74歳の3人に1人は働き、生涯現役を指向する人もいるという時代を迎えています。

こうした中で、受け入れ先の事業所は高齢者をどのように活用しているのか、また人材を送り出すシルバー人材センターは、さらに高齢化する会員の就

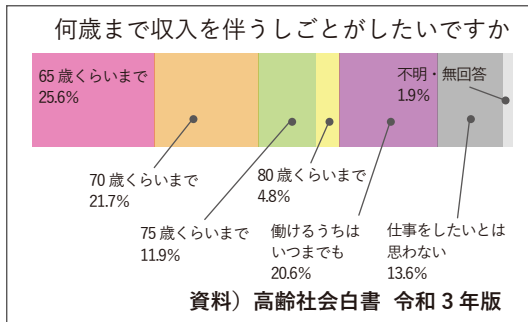
受入れ先では有為に活用

当センターを利用いただいている事業所は年々増え、その活用分野も広がっています。

今回ご紹介する3つの事業所では、業務を進めていくための人員確保の意味合いからの利用となっております。

愛媛CATVでは、まとまった数の人材が必要となってきたり、丁寧な仕事ぶりや対応力、加えて賃金の上でも納得できる内容であったことから、信頼感が増し、新たな分野への活用につながりました。

テイクリエイトでは、地域の観光スポットづくりに地域の高齢者を活用したいと思っていたが、地域ではその人材が集まり切らず、女性会員に呼びかけ、商品づくりを始めたところ、インスタ映え効果もあって、道後



労をどのようの受け止め対応していくのか、担当者にお聞きしました。

(株)愛媛CATV

地域に根ざした高齢者の

知見や情報に期待



取締役 総務部長 森 知彦

●シルバー人材センター活用のきっかけは？

シルバー人材センターとのご縁は今から5、6年前。それまではセンターの名前は聞いていましたが、特に接点がなく、それまでテレビの番組表「きゅんち」の配布をしていた業者が、1年後の配布作業を断ってきたことから、センターに相談。地域に根差す活動という点でもセンターと当社のめざす方向が一致し、お互いに得るところがあると考えてお願いました。

●活用しての感想は？

当時140名の配布希望者が名乗りを上げてくれて、4万部強の「きゅんち」を配布、現在も継続してもらっています。

何しろ松山エリア内に散ら

ばっている愛媛CATVの契約家庭に月末に一齐に配布するので、地域に詳しい会員さんが丁寧に配布作業を行ってくださるので、配布率も良くなりました。これを機にセンターへの信頼感が増し、その後のさまざまなマッチングにつながるきっかけになりました。

●今後の高齢者活用は？

我々の大先輩は、地域のことについて詳しく、自律的で意欲も高い。当社は地域の安心や安全のためにデジタル化を進めています。今後はもっとタッグを組んで、お互いを活かしあう形を作りたいと思っています。

SC会員の活用の現状

「きゅんち」の配布作業や月2回の「スマートフォン講習会」、地域密着型のデジタル支援ブース「DX-Silver」などで多くの会員が就業。

の人気商品に定着しています。いずれも高齢者の利点が生かされ、結果的に会員の息の長い就労につながる事ができています。

また、松山市社会福祉協議会では多くの受け入れ先事業所と同様に、業務にあわせて適性の人材を活用していますが、高齢者ゆえの配慮や丁寧さを評価しています。

生涯現役と言うけれど

現時点ではいずれの事業所も表立った就業中のトラブルはないとのことでした。しかし、加齢とともに体力・身体機能や判断能力などの減衰は免れず、就労する会員の体調やスケジュール管理だけではカバーできない局面も想定されます。高齢者活用のメリットの裏にこうした高齢者の健康管理をどうしていくのか、本人の就業意欲と実際の処理能力の見極めをどのように諮っていくのかなど難しい問題も垣間見えました。

改めてシルバー人材センターの現状と今後の活用策について、宇野一生・常務理事、吹野公郎・営業担当理事、吉野伸也・松山実施事務所長に話を伺いました。

環境の変化

3者が指摘したのはセンターを取り巻く環境の変化でした。本来シルバー人材センターは、健康で働く意欲のある高齢者に働く機会を紹介し、仕事を通じて社会参加の場を提供することを目的としています。しかし、社会環境や労働市場の急激な変化に伴い、センターに入会する会員の意識も変化。70歳前後の新規入会者と年々高齢化する既存会員で、受注した仕事の会員確保難や就業に伴う事故の増加などこれまでにないさまざまな課題に直面しています。

高齢化が及ぼす影響

「現在会員の平均年齢は73.1歳。新規入会者でも65歳の定年後少したってから入会しま

テイクリエイト

プロ意識が「お結び玉」を

奉納品に



プロデューサー

石川 智子

●「お結び玉」とシルバー人材センター会員とのご縁は？

2013年に「道後温泉開運めぐり」プロジェクトがスタート。道後地区の埋もれた文化財発掘とその観光ルートづくりから、もともと火避け祈願のお寺であった圓満寺の白塗りの大地蔵尊を開運のシンボル、特に恋愛成就のパワースポットに。その願いを託す奉納品として開発したのが「お結び玉」でした。常時数多く用意する必要から、シルバー人材センター女性会員に講習。内職で作ったものを納めてもらっています。今は月に700個ぐらい製作します。

●活用しての感想は？

内職班の存在がなければとて

もパワースポットにはなり得ませんでした。生地集めから内職の手配、検品作業を経て納品となるのですが、10年近くも製品の質を落とさず、一定量を納めるのは良きリーダーがいたことと、メンバーの方々の丁寧な仕事、そして一定量の製品が滞りなく納入されたからです。

●今後の高齢者活用は？

奉納される方は好みの「お結び玉」を選択。それだけに「高齢女性の手仕事」、趣味としてではなく、願いをつなぐ奉納品としてプロ意識をもって製作しても



色とりどりのお結び玉

SC会員の活用の現状

「お結び玉」は圓満寺参拝に欠かせないグッズとして定着。現在も約10名の会員が製作に当たっている。

す。前職がホワイトカラーという層が増え、事務職や専門・技術職の仕事を求めるが、実際は現場仕事の求人が多いためミス

マッチが起こる。講習会を実施しているが意識の切り替えが難しい」と吉野・松山実施事務所

長。会員が従事する職種で最も多いのは除草や剪定作業。ついでビル等の管理人、商品販売。

これらは健康であれば長く続けられる仕事です。しかし、そこに居場所を見つけないには意識改革が必要です。また、現場での未経験の仕事は事故やケガにつながりやすいというリスクもあります。

会員でもある吹野・営業担当理事は「会員の入会理由も変化してきたが、ここ10年は経済的理由がトップで4割を占める。でもシルバークロニクルで働くという事はまさに「生きがい就労」、生活にリズムができ、健康維持ができる。生きがいや社会貢献につながり、その上ある程度の収入

を得ることができることが魅力」と語ります。

現在センターでは、さまざまな環境の変化に合わせてセンターの業務のあり方を検討する第6次中・長期計画策定作業に入っています。

「創立から35年、高齢期の仕事を

得る場というセンターの役割に新たに「生きがいづくり」が求められています。一人一人の会員さんが生きがいを見つけ、生涯の居場所とできるように、高齢者団体としての強みを活かす仕事を創出していきたい。そのためには職員がまず会員さんをもっと知ることが大切だと考えています」と宇野・常務理事。

シルバークロニクル人材センターは会員相互で支える民間組織。会員一人一人がより心豊かな高齢期を過ごすためのステージをめざします。新たなご自分の人生を創り出す「場」にしてはいかがでしょうか。

松山市社会福祉協議会

みんなでつなげる支える

まちづくりをめざして

日赤・赤い羽根共同募金会担当者
庭園等植木管理担当者

●シルバークロニクル人材センター会員の就業状況は？

これまでさまざまな形で就業していただけてきましたが、現在は主に日赤・赤い羽根共同募金会の仕分け作業と福祉センターの庭園などの庭木管理の仕事をお願いしています。日赤・赤い羽根共同募金会の仕事は10年ぐらい継続的にやってもらっていて、5、6人で2週間ほど、庭園管理は月に5、6回担当してもらっています。

●活用しての感想は？

日赤・赤い羽根共同募金会の仕事は市内の40校区に関連物を間違いない仕分け作業で、経験者が手際よく作業してくれるので、安心してやってもらっています。午前9時から午後5時

までと長時間の作業ですが、丁寧

に間違いもなく毎年進めてもらっている

●今後の高齢者活用は？

松山市社会福祉協議会は「みんな

SC会員の活用の現状

現在は日赤・赤い羽根共同募金会のお手伝いと、福祉センターの庭園などの植木の管理に従事している。

理事会の動き

令和4年度第7回理事会を開催

令和4年12月22日(木)に松山市ハーモニープラザにおいて、第7回理事会を開催しました。

■議案審議

各議案の内容は次の通り。

●第1号議案「令和4年度収支補正予算(案)について」

「愛媛県ICT機器導入促進事業費補助金」「社会福祉施設等物価高騰対策緊急支援助金」の交付を受けることについて決議。

●第2号議案「第6次中・長期計画策定経過について」

「第2回 第6次中・長期計画策定検討委員会」の決議内容等、上申された内容について決議。

●第3号議案「令和5年度事業計画策定に係る指針について」

第6次中・長期計画策定に係る上申内容に基づき、令和5年度事業計画策定に係る指針について決議。

■報告事項

定款第24条第5項に基づく執行状況報告、担当理事報告に続き、事務局報告として、理事長の入会承認を受けた会員数の報告、令和4年度10月末現在の事業実績及び収支執行状況について報告。

11月末時点、会員数2187名(前年同月比、100名増)
10月末現在の契約金額5億9千723万(前年同月比101.7%)



第6次中・長期計画

10月25日(火)、第2回目となる「第6次中・長期計画策定検討委員会」を開催しました。

委員会の冒頭、今後の全国のシルバー人材センターの事業運営に大きく関わる、令和5年10月から始まる「インボイス制度」や政府が法制化を検討している「フリーランス取引適正化」の動きなどについて、制度などの方向性が明確に定まっていなかったと事務局が報告。中長期にわたる計画策定には財政・組織・会員の在り方など、センター運営のすべてに同制度や法案が密接に関わり、それらを計画に盛り込むことが必要不可欠なことから、同制度や法制化の動きを注視し、慎重にかつ継続的に計画案を策定する必要があるという認識を共有した。

法制化などの動きが定まり次第、改めて委員会を開催し、計画策定を行うことになりました。

TOPIX フライブルク市 副市長来訪

11月25日(金)、松山市の姉妹都市であるドイツ・フライブルク市の副市長ウルリッヒフォン・キルヒバッツハ氏と国際交流部長ギュンター・ブルガー氏が来松し、「まつやまRe・再来館(りっくる)」を訪れました。

まつやまRe・再来館では、センターの独自事業のリメイク工房を見学した後、手すき和紙工房で手すき和紙を体験。帰りには、それぞれの工房で会員が作製した品をプレゼンすると、満面の笑顔で喜ばれていました。

会員から作り方を習い手すきに挑戦する国際交流部長



着物をリメイクしたドレスを興味深く見入っていた副市長

女性委員の会だより

臨時女性委員会開催

女性委員会では10月3日、懸案となっていたシルバーフェスティバル開催について、各班からの意見聴取のため、臨時的に開催。各班からの意見をもとに開催の是非、その概要について検討しました。

各班ともコロナで班活動が停滞し、相互の交流の疎遠をマイナス要因と受け止め、班としての負担が少ない形でのフェスティバル開催については賛成の方向。だが具体案が出なかったことから、生きがい就労班より提案された「音楽の夕べ」+物販や活動紹介の場の併設案を班に持ち帰り検討することにしました。

「音楽の夕べ」案は松山北校の吹奏楽部OB会「北斗21」の演奏会。

社会貢献活動の一環として福

祉施設などで演奏されていたので、打診したところ感触があったこと、また委員会の席上、班活動をアピールする場が欲しいとの意見もあったこと、会場確保の目的が立ったことから提案されたものです。

次回委員会で同意を得たうえで具体的なフェスティバル実施案の検討、準備に入ることになります。

愛媛CATV店頭でワークショップ

10月18日と20日に、愛媛CATVの依頼で、本社店頭において「つまみ細工」と「絵手紙」のワークショップを開催。会員の得意を活かして指導に当たりました。



▲つまみ細工



▲絵手紙

ハロウィンメニューで

まつやま花園日曜市に参加

松山市花園町では月末にまつやま花園日曜市を開催しています。当センターのシルバーサロン清水町では、センターの周知と会員の生産活動の場として、手づくり品やお弁当などの物販を6月から行っています。

10月はハロウィンに因んで、ハロウィンメニューで参加。「かぼちゃのしぐれ」「かぼちゃのクッキー」「かぼちゃのそぼろ」とかぼちゃづくしでしたが、天気にも恵まれ完売となりました。

手づくり品にビーズ作品とおりがみ作品が加わり、会員の多様な得意技を披露。参加者の興味をひいていました。



▲シルバーサロン清水町のブース

北海道のかぼちゃの味を堪能

シルバーサロン清水町は、会員講師による7つの教室のほか、互いに学びあう10に及ぶ倶楽部活動に利用されていますが、サロンの生産活動としてミニフリーマーケットも地域に少しずつ定着しています。今回の目玉は「北海道の栗かぼちゃ」。北海道江別市シルバー人材センターから贈られた色白の「雪化粧」という栗かぼちゃを使って、さまざまなお菓子や総菜を調理販売。参加された地域の方々とともに北海道のかぼちゃを堪能しました。



▶かぼちゃづくしのあれこれ

お仕事拝見



大街道駐輪場管理

栗田 淳一さん (69歳)

松山市からの委託業務として、当センターでは「松山市営大街道駐輪場」の管理運営業務を受託し、元日を除き、1年364日管理に当たっています。栗田さんはこの「松山市営大街道駐輪場」の管理業務に就いて約2年半、現在7人の管理業務メンバーの班長を務めています。

「この駐輪場は松山市の中心部にある大街道商店街のほぼ中央部にあるので、通勤、通学、買い物客、夜は歓楽街を利用されるお客さままで終日利用者がたえません」と栗田さん。お話を聞いている間にも利用者が自転

車を預けたり、取り出したりと事務所の前を歩き来します。

「ここでの仕事は駐輪場の適正な管理・運営。利用者の利便を図り、自転車の放置防止につながるということですが、自転車の出し入れ時の案内や整理、精算機からの利用料回収だけではなく、利用計画・利用報告書の作成、利用者のカウント調査など様々な業務があるので、結構忙しく緊張感もあります。その上、朝7時開場に備え、6時50分頃にはシャッターを開け勤務に向かう利用者を受け入れ、飲食関係の利用者にあわせて24時という遅い時刻に閉めるという不規則な勤務時間や、機器のトラブル、駐輪場前の商店街でのトラブルが持ち込まれたりもします。人生経験豊かな高齢者だからこそ対応できているのかもしれない」と語ります。

そのせいか短期的・臨時的な就労が多いシルバーではめずらしく5年の継続勤務が可能なの



労先として人気のあった駐輪場管理業務ですが、このところ人材が不足しがちの様子。

「そもそも私も退職後の手持ち無沙汰に閉口していたところ、知り合いに声を掛けてもらってシルバー人材センターに入会。当初愛媛CATVの番組表「きゃっち」の配布や、マンションの施設管理の仕事をしていましたが、駐輪場管理の欠員補充の公開抽選会があることを知り応募、この仕事に就くことになりました。現役時代は営業の仕事をしていたのですが、利

用されるお客様に声がけをしたり会話をすること、そしてよく歩くことは現役時代の経験が生かされていると感じています」

ここでは勤務時間を早出・中出・遅出の3つに分けて、7人がフレックスで30回ずつシフト。栗田さんの勤務は月のうちの14〜15日。朝7時から深夜24時までの供用時間のうちの1日5、6時間の勤務をしています。

「年齢は正直で、いつかは2階、3階まで上り下りするのがおっくうになる日も来るでしょうが、まだ少しは大丈夫かなと思っっています。この年齢でこうして元気に働いているのもまず仕事を通じて生活のリズムができ、体を動かすことでそれがい運動になっていきますし、業務上の書類の記入・作成なども脳のいい刺激になっています。そのうえ多くはないけれど定期的な収入ができたことでこの働き方に満足しています」と現在の心境を話してくれました。



ぶらり松山散策

石手、東野く桑原

石手寺を出発する。寺の裏山に建つ弘法大師像への登山もい
いが、今回は東に歩き岩堰橋を
渡ることにした。



▲ 岩堰橋の下に残る開削の跡

岩堰は松山城築城時に石手川
の洪水から城下を守るため20
0メートルにわたる巨大な岩壁
を、石切りノミとツチだけで開
削したという。今も残るノミ跡
が当時の難工事の様子を物語
り、橋からは切り取った岩盤を
見ることができる。



観音堂



高浜虚子の句碑



東野お茶屋跡の碑

▲「東野お茶屋跡」がある愛媛県
研修所などへは、散歩、自転車
などで入ることができる

難工事跡に感嘆しつつ、東野
2丁目の信号をさらに東に進ん
で行くと「竹のお茶屋」という
喫茶店が目にとまる。店の前
には東野遺跡絵図という古図があ
り、喫茶店で「東野お茶屋跡」
のことを教えてもらう。周囲を
竹に囲まれた松山藩初代藩主松
平定行の隠居所跡だが、残念な
がら明治初年までに、建物など
のほとんどが取り払われてし
まったのだとか。少しだけ遺跡
へ立ち寄ってみることにした。



▲ お好み
焼き屋レオ



東野お茶屋跡がある「愛媛県
研修所、農協学園」の敷地内
には、農協神社やお茶屋跡の碑の
ほか、高浜虚子の「ふるさとの
この松採るな 竹切るな」とい
う句碑があり、左奥に入って行
くと観音堂と琵琶湖を模した周
遊できる池が残っていた。
東雲女子大学先の拓南通りを
西に6分ほど歩き、小さな横道
を右折した2軒目にある「お好
み焼き屋レオ」。中に入ると81
歳の店主とおかみさんが出迎え
てくれた。店内は居心地のいい
昭和のお好み焼き屋だ。店主の
話によると48年営業しているそ
うで、安いのが魅力だ。お好み
焼き300円を注文し、追加の
そばは50円。焼きとうもろこし



▲ 経石山古墳



がおまけについできた。店主は
仕事（船舶一級通信士）で世界
中を回っていたため話も豊富で
尽きない。おかみさんは写真好
きで、夫婦で旅行したときの各
地の写真を店内に飾っていて飽
きのこないお店だ。
店主から「経石山古墳」を教
えてもらった。店から20メー
トル北に進み、右折した先に古墳
がある。小さいながらも前方後
円墳で、町中に残っているのは
珍しい。全長48.5メートル、
幅25メートル、後円部は高さ5
メートルほどの丘になってお
り、登ってみると「確かに前方
後円墳だな」と感じられた。
今回は、歴史を感じる楽しい
5キロほどの散歩だった。

お知らせ

働く場の創造への取り組み

ミシン縫製事業

当センターでは、これまでさまざまな独自事業を展開して、会員の方々が働く場所づくりを行ってきました。

現在、新たな就労の場づくりとして取り組んでいるのがミシン縫製事業です。

仕事内容は、作業場に設置しているミシンを使い、スーツやジャケットの芯地部分を縫うというものです。希望者の日時に合わせたシフト制を予定。ミシンのかけの得意な方のほか、縫製作業や内職作業をご希望の方、日ごろから縫物、手芸などを楽しまれていらっしゃる方に内職的な業務を行っていただく予定です。

健康でお仕事をやる意欲のある方であれば、年齢・性別は問いません。ミシンでの縫製経験

も特に必要ありません。事業の準備が整い次第、具体的な説明会を開催しますので、興味がある方はお気軽に、左記の連絡先までお問合せください。

【連絡先】

TEL 9333-7373

本部企画課 矢野

運転シミュレーターの

実施について

今年度5月以降、除草班・剪定班を含め運転に絡んだ事故や事故に準ずる危険な事案が多数発生しています。そこで当センターでは、運転に影響を及ぼす身体機能、判断能力について運転シミュレーターを使用して数値的に測定し、ご自身の運転能力を再確認していただくため、令和4年10月23日～10月27日の5日間、除草班および剪定班の会員を対象とした「運転シミュレーター」を実施。129名の会員の方々が参加されました。

事故は身体機能や認知能力以外の要因で起こることもあります。今後も事故防止や安全対策の意識啓発を続けていきますので、安全就労へのご協力をお願いいたします。



▲事故防止のために運転能力をチェック



▲ハンドル操作を視える化

編集後記

今年卯年。円安、コロナ禍の影響で抑制的経済となったことなどで景気の鈍化が続きましたが、飛び跳ねるウサギの姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして株式業界などでは期待を寄せます。

そもそもウサギは穏やかな性質でさびしがり屋とか。そのため卯年生まれの方は温厚で平和主義者と言われていますが、いざれにしても新しいことに挑戦するのに最適な年とも言われますので、昭和38年、50年生まれの年男・年女にあやかっ、誰もが生涯現役をめざして生きがいややりがいを見つけてる年にしたいものです。この年も平和で健やかな日々となりますよう祈ります。(D)

【編集委員】

土居園江 梶原常晴

桑村啓三 赤尾真由美